



酒向 弘康 議員

問 防犯カメラ設置の加速を

答 今後 5 基を予定している



JR 幸田駅駐輪場の防犯カメラ

住民の安全な生活を守る、防犯カメラ設置など現状と計画を問う。

問 現状の防犯カメラの設置数と今後の計画。

答 総務部長 監視カメラ 83基、内防犯カメラは14基。今後5基を予定。

問 保育園、学校の設置状況と安全機器の現状。

答 住民こども部長 保育園には設置していない。

答 教育部長 小学校2校、中学校1校の3校に6基を設置。全学校にセコムを導入している。

問 防犯用センサーライトやソーラーライトなどの

設置を奨励し、行政主導で「1戸1灯運動」の推進を。

答 総務部長 幸田町防犯活動行動計画を定め、啓発をおこなっている。

問 防犯カメラ設置補助金制度などの充実で、さらに増設を加速させる施策を。

答 行政区からの要望はないが、今後検討する。

問 プライバシー保護と設置拡大のため「防犯カメラ設置及び運営に関する条例」制定の考えは。

答 今後の対応を検討していきたい。

問 「ゾーン30」の取り組みを

答 地域の要望があれば対応

問 通学、通勤時の交通安全対策を問う。

答 建設部長 3月時点での未対応は、9カ所内の4カ所に対応済。

問 住民からの信号機、横断歩道設置要望の数と実現数は。

答 総務部長 信号機が18カ所、横断歩道6カ所。平成24年度は信号機1カ所、横断歩道2カ所を設置した。

問 通学路にある信号機数、そのうち歩行者用信号機の数。

答 町内全信号機95カ所中、通学路の信号は67カ所。歩行者用は不明。

問 カーブミラー、道路の

白線・表示線が消えかかっている見えない。修繕の計画は。

答 建設部長 今年度以降年間1000万円程度の補修費をおこなっている。

問 12月1日から道交法が改正された。中学生の自転車通学の安全指導は。

答 教育部長 生徒へのチラシ配布、校長会でも周知をする。

問 全国的に広がっている「ゾーン30」※の取り組みを。

答 総務部長 要望があれば対応をしていきたい。

問 JR幸田駅ホームの混雑時の安全対策を。

答 企画部長 すぐには困難。JR本社へも強く要望していく。

※ゾーン30
生活道路などの区域を指定し、車の最高時速を30km/hに制限する交通規制